

さんぽみち

2025年6月1日

第101号

■発行者
兵庫県立リハビリテーション中央病院
〒651-2181
神戸市西区曙町1070
TEL (078)927-2727
FAX (078)925-9203
<https://www.hwc.or.jp/hospital>

ご挨拶 ～楽しく、役立つ情報をお届けします～

「さんぽみち」は平成11年5月の創刊号から数えて101号目、いわば新世紀の第1号目の発行を迎えました。これまでも患者の皆様、ご家族、地域の方々に向けて、新しい医療技術への取り組みや、院内の部署や職員の紹介、最新の医療情報などを発信してまいりましたが、これからもタイムリーに楽しい、役立つ情報を本誌に載せてお届けしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

兵庫県立リハビリテーション中央病院
病院長 大串 幹

新任スタッフ紹介



整形外科医師
高島 良典

初めまして4月より赴任しました整形外科の高島良典と申します。関節の痛みなど整形外科に関するお悩みなどありましたらご相談ください。皆様とよい関係が築けるような診療を行っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



整形外科医師
置村 健二郎

初めまして、4月より赴任いたしました整形外科の置村健二郎と申します。地域の皆さまのお役に立てるよう頑張っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。



整形外科医師
横田 真二郎

初めまして、整形外科の横田真二郎と申します。皆様のお役に立てるよう頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。



臨床工学技士
木場 貴子

初めまして、臨床工学技士の木場貴子と申します。臨床工学技士が採用されるのは初めてのため院内の機器管理・トラブル等で皆様のお役に立てるよう頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。



整形外科医師
高垣 潤

初めまして、4月より赴任致しました整形外科の高垣潤（たかがきじゅん）と申します。日々真摯に診療に向き合っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。



整形外科医師
傳 直樹

初めまして、4月から赴任しました整形外科の傳直樹と申します。皆様のお役に立てるよう頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。



整形外科医師
大瀧 建也

初めまして、4月より赴任しました整形外科の大瀧建也と申します。皆様のお役に立てるよう頑張っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。



地域医療連携部
安尾 仁志

今年度より地域医療連携部に配属となりました安尾仁志と申します。病院における地域との窓口として皆様のお役に立てるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

電子システム(カルテ)を更新しました!

●iPhoneの導入

令和7年3月1日から電子カルテシステムの更新と共に iPhone を導入し、迅速な情報共有と連携など、業務を効率化し、医療サービスの向上を目指します。



必要なケアやサービスに関して
スタッフ間でスピーディーに
共有されます

カルテ閲覧や入力だけで
なく、血圧や体温の
記載もできます



●お薬の院外処方について

令和7年3月より外来受診の患者さんには、原則として院外処方せんを発行させていただきます。
保険薬局に「院外処方せん」を渡し、お薬を受け取ってください。



※処方せんの有効期限は発行日を含めて4日間
ですのでご注意ください。(土・日・祝日を含む)

●再診受付

再診受付を自身で行うことができます。
1階総合受付に再診受付機を設置しています。



●後払いシステム

診察後の会計が精算機で可能となりました。診察券とクレジットカードのアプリへの登録をお願いします。



新年度の診療部体制



診療技術の向上及び研究活動の推進に向けて

今年度より、病院職員の診療技術の向上及び研究活動の推進による職員の働き甲斐の向上の取組として、Special Interest Group（以下「SIG」と略し、「シグ」と読む）を設置しました。組織の中で、特定の分野やテーマについて共通の興味や関心ある職員が、知識や技術を追求し、研究成果などを共有する専門チームです。今年度は、7つの SIG が承認されました。今後、活動の成果が病院サービスの向上や皆さまのお役にたてるよう努めます。

脊髄損傷研究チーム	上肢切断 SIG	下肢切断 SIG	脊損性機能研究会
在宅支援強化 SIG	災害対策 SIG	スポーツリハビリテーション SIG	

スポーツ医学診療センターが紹介されました



3月13日の神戸新聞に、スポーツ医学診療センターの記事が掲載されました。

一般的には手術とリハビリテーションなどは別々の機関に行くことになりますが、当院は多様な人材と既存施設の活用により転院することなく、怪我の診断から手術、復帰までをサポートしている数少ない病院として紹介されています。また、スポーツ医学診療センター 荒木センター長は、バレーボール男子日本代表の主力選手らのサポートを続けていることや、国際バレーボール連盟メディカル委員であることも紹介されています。



ウクライナ医療従事者の研修受け入れ

当院は、兵庫県による「創造的復興」の理念を活かした「ひょうごウクライナ支援プロジェクト」の一環で、「ウクライナ国緊急復旧・復興プロジェクト」に取り組む JICA と協力し、現地のニーズに基づいた国別研修「ウクライナ国保健分野能力強化ーリハビリテーション（実務者研修）ー」を受け入れました。令和7年2月3日から28日まで、ウクライナのイヴァーノフランクィウシク州臨床病院に所属する医師、理学療法士、作業療法士、3名の研修を担当しました。ウクライナでは、3年にわたる戦渦で負傷して障害を負う人が増え、リハビリテーションの専門人材が不足しているといえます。同州はウクライナ西部に位置し、避難民が多く、リハビリテーションを拠点にする必要があり、3名は脊髄損傷のリハビリテーションを学びに来られました。



当院の医師、理学療法士、作業療法士が中心に研修を担当し、脊髄損傷のリハビリテーションに対する考え方や動作練習の方法等をお伝えしました。3名からは「日本で学んだことを共有し、希望があると患者に伝えたい」と、研修は非常に好評でした。今年度も引き続き、研修を実施する予定となっています。

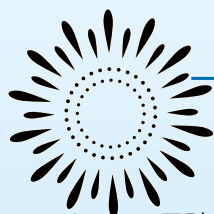
癒しのひと時 ロビーコンサート

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止していたロビーコンサートが約5年ぶりに開催されました。長年にわたり患者さんの治療に尽力してきた音楽療法士によるピアノ演奏会が3日間にわたって行われました。多くの患者さんが集まり、美しい歌声や楽器の音色に耳を傾けていました。演奏に合わせて患者さんが歌を歌う場面もあり、楽しい時間を過ごしていただきました。



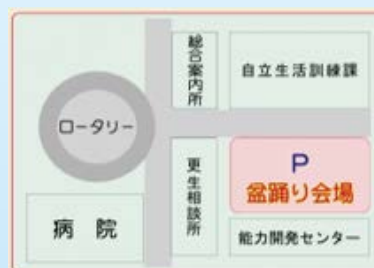
1階外来ロビーに設置されている黄色いピアノは、阪神・淡路大震災復興のための街角チャリティコンサートから始まった「黄色いピアノをおくる会」に賛同する会社および個人の募金活動により、病院や施設に寄贈された全国で6台目のピアノです。平成19年に当院に寄贈いただき、ロビーコンサートなどに利用しています。

行事のお知らせ



総合リハビリテーションセンター盆踊り大会

日時：令和7年8月1日（金）
18:00～21:00（雨天中止）
場所：職業能力開発センター前駐車場
今年もカラオケ大会やアトラクションなど盛りだくさんの内容です。
また、職員による屋台も多数出店予定ですので、おたのしみに！



県民公開講座

テーマ：膝関節疾患に関する予防と最先端治療
日時：令和7年9月28日（日）
14:00～16:30
場所：子午線ホール
明石市東仲ノ町6-1 アスピア明石北館9階
※詳細については決まり次第ホームページ等でご案内させていただきます。

医師、セラピスト、
薬剤師が解説します！

